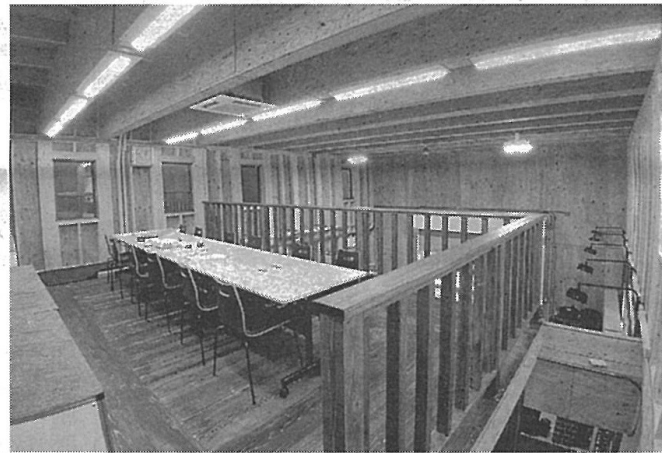


合成充腹梁を用いた都市部の工場（東京・足立区）

社のタカハシファーム

非住宅木造分野で実績重ねる

2×4生かしたトレーラーハウスも 高橋木箱製作所



にパネル生産や野地合板加工、プレカットを手掛ける。パネル生産量は月間約600坪で、主要取引先の大手ハウスメーカーからの受注は堅調に推移している。

同社が長年にわたり培ってきた2×4事業の経験を応用し、元請け事業を手掛ける子会

高橋木箱製作所（東京都、嶋田貫一社長）は、茨城事業所を拠点

上げていく。

このほか、同社及びタカハシファームが連携して製造した木造トレーラーハウスも認知を広げている。同トレーラーハウスの本体部分にはツーバイ材を使用。レジャー・アウトドア関連の展示会への出展では反響があり、近郊の農園の加工工場やグランピング施設などでの導入も進む。

今後は、タカハシファームに在籍する社員大工の拡充と、技術力向上を図っていく考え。会社としても技術力を裏付けるため技能資格の取得を推奨するなど、設計・施工に関する豊富な知識を持つ大工集団を目指していく。